



「大阪・光の饗宴」について

2003年より開催してきた『O S A K A 光のルネサンス』は、昨年度で10年目を迎え、

中之島エリア約300万人・御堂筋エリア約150万人の集客がある

大阪の冬の風物詩として定着してきました。

本年度より、単なるイベントではなく、大阪市中心部において大阪の
新たな都市ブランド向上と国内外への発信力強化、観光促進をめざし、各エリアで展開
する光プログラムを一体化した

「大阪・光の饗宴」として発信することとなりました。

本年は、コアプログラムである「O S A K A 光のルネサンス」「御堂筋イルミネーション」と各エリアのプログラムがテーマの連携を図り、
官民が一体となって世界へ誇る「大阪・光の饗宴」をめざし
来街者を光でおもてなしします。

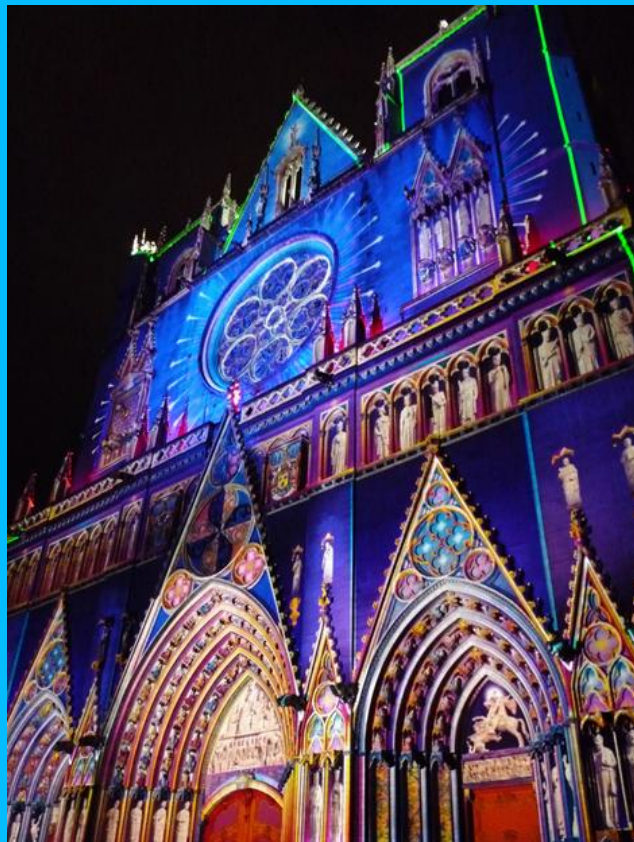
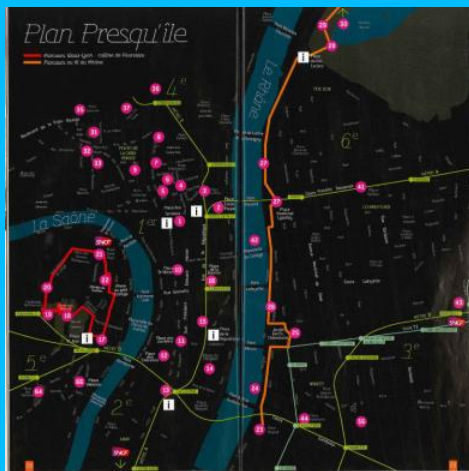
世界に誇る「大阪・光の饗宴」を目指して

フランス・リヨンの「リュミエール祭」を参考に、各エリアの個性を活かし、大阪中心部に広がる光の饗宴として、大阪の都市ブランドの向上に貢献する事業を目指します。

「リヨン・リュミエール祭」

4日間で400万人以上集客する光のイベント。街中では70か所の会場で様々な光のアーティストがプロポーサルで選ばれて演出を繰り広げることから、アーティストの登竜門ともなっている。推進プロジェクトとして専門家の入った推進委員会が構成され、クオリティを確保。各プログラムでの協賛獲得も認めている。また運営警備などは警察が中心で実施。

案内はボランティアが一部協力している。
※2009年視察に基づく



『光の首都・大阪』 シンボル事業の創出

=大阪ならではのおもてなしを生み出す=